

久慈農業改良普及センターだより



普及センター情報 237号
平成29年2月23日発行
久慈農業改良普及センター
TEL: 0194-53-4989
FAX: 0194-53-5009

〇 県農業青年活動実績発表会で最優秀賞に輝きました 〇

久慈管内で活動する土壌消毒支援班「Green Buds」代表の洋野町の宇名澤順一さんが、1月17日に開催された平成28年度県農業青年活動実績発表会でその取り組みについて発表し、最優秀賞に輝きました。

土壌消毒支援班は久慈地域の若手園芸農業者で構成されたグループで、平成25年度から管内で雨よけほうれんそうの土壌消毒作業を代行しています。今回の発表では病害および雑草対策としての土壌消毒を関係機関と連携して取り組み、産地維持活動に貢献していることが評価されました。また、同発表会において洋野町の酪農家の若手奥様方を構成とする「ブッキーの会」が優良賞を受賞しました。

なお、「Green Buds」は今年11月に開催される平成29年度東北農業青年会議岩手大会へ県代表として派遣されます。

〇 明日を拓く担い手賞を受賞しました 〇

1月20日に開催されたいわて農林水産躍進大会において、洋野町の長谷川康成さんが「明日を拓く担い手賞」を受賞しました。この賞は新たに農林水産業に就業し、意欲を持って経営に取り組んでいる農林漁業者を表彰するものです。

長谷川さんは雨よけほうれんそう栽培による経営に菌床しいたけを新たに加え、技術向上や経営改善に取り組んできました。また、土壌消毒支援班の取り組みや洋野町まちづくり座談会に参画するなど、地域農業のけん引役となっていることから受賞に至りました。



写真：県北広域振興局局長室にて撮影

左から八重樫局長、長谷川さん、宇名澤さん、佐藤農政部長

1月31日に県北広域振興局の八重樫局長を表敬訪問し、それぞれの受賞を報告しました。

宇名澤さんは「取り組みを評価してもらい良かった。今後も農業者の産地維持に貢献していきたい。」、長谷川さんは「荣誉ある賞を受賞し嬉しく思う。叱咤激励の意味もあると思うのでこれからも頑張りたい。」と、受賞の喜びと今後の抱負を語っていました。

○ 久慈地方農業表彰として、6経営体が表彰されました ○

2月9日に久慈地方農業農村活性化推進協議会の主催で久慈地方農業振興大会が開催されました。この振興大会には生産者や関係機関合わせて約350人が参加し、「日本人の命と健康を守るため、元気な農業をつくろう。」と遠藤譲一同協議会会長が呼びかけました。



写真：「明日を拓く担い手賞」を受賞した
中屋敷稔さん（左）、田代人貴さん（右）

振興大会では久慈地方農業表彰として6経営体が表彰され、久慈市の中屋敷稔さんが受賞者を代表し、「消費者から信頼される産地確立のため頑張る。」と謝辞を述べました。

また、同振興大会で「畜産優秀者表彰」、「園芸生産拡大者表彰」、「ほうれんそう収量アップコンクール」の表彰が合わせて行われ、23経営体が受賞しました。

【久慈地方農業表彰 受賞者】

「明日を拓く担い手賞」

中屋敷稔さん（久慈市）、田代人貴さん（洋野町）

「意欲ある担い手賞」

谷崎勉さん（久慈市）

農事組合法人ライスランド久慈（久慈市）、
木下秀男・けい子夫妻（洋野町）

「次代へ伝承する「地域食文化」賞」

北田白礼干さん（野田村）

○ 新たな農業農村指導士が認定されました ○

洋野町で酪農・肉用牛繁殖を行っている塩倉康美さんが、平成28年度岩手県農業農村指導士として認定されました。

塩倉さんは昭和62年に就農して以来、自給粗飼料生産や計画的な繁殖管理といった技術を磨き、各種農業団体の代表を務めるなど地域農業のけん引役です。また、地域酪農家が主な出資者となっている（株）おおのミルク工房代表として、高品質な牛乳や乳製品を消費者に夢をもって届けています。

【略歴および功績】

平成6年～17年青年農業士、平成14年～19年陸中ホルスタイン改良同志会長、平成19年～（一社）大野畜産公社理事、平成23年～岩手くじ乳用牛群検定組合長、平成24年～（株）おおのミルク工房代表取締役。平成26年度いわて農林水産振興協議会長表彰「意欲ある担い手賞」受賞。

